

妊婦健診 市、公費負担の充実 早期実現へ

日本共産党

こんにちは 市会議員
南畑さち代です

2008・7・30
連絡先
453-7758

六月議会報告

6月定例会は6月12日から7月1日まで開かれました。私の一般質問は、4月から実施された「妊婦健診等について」「後期高齢者医療制度について」です。以下報告します。

妊婦健診等について

安心して子どもを出産するために妊婦健診は欠かせません。しかし、費用が高くて健診を控えたり、未健診で出産する人がおり、非常に危険です。

し、財政が厳しい場合でも、少なくとも最低5回の助成が原則であるとしました。この国の通知を踏まえ、多くの自治体は公費負担回数を増やし、昨年の平均回数2・8回から今年5・5回と、ほぼ倍加されました。しかし、和歌山市は昨年と同様の2回に据え置いたま

質問 妊婦健診について

国は昨年1月、公費負担は14回程度が望ましいとする通知を出

まとなつており、中核市(38市)の中でも最低となつています。子育て支援の立場から、

自治体として安全に出産できる環境を早急に整えるべきではないか。

助産所の妊婦健診についても

国は「病院、診療所、助産所などにおける公費負担については当該通知を踏まえて適切に対処されたい」と示しています。現在中核市では14の自治体が対象としています。利用者がいる以上、公費負担の対象とすべきではないか。

他府県から里帰り出産をした

場合、上の子どもが居住地で保育所等に入所していると、一時保育の申し込みは住民票を移さなければなりません。そうすると居住地の保育所等には席がなくなり、一時保育の利用ができないうこととなります。市の一時保育の利用状況等はどうか。

医療機関に支払う出産費用の

負担を軽減するため、出産育児一時金(上限35万円)が健康保険等から支給されるが、昨年10月から手続きすれば立て替えるようにになりました。しかし、制度を知らずに困っている人も

こんにちは！奥村のり子です

肌を突き刺すような日差しは太陽の熱いメッセージのようです。

6月議会ではこの人類的課題である地球温暖化抑制にむけて実効ある対策を求めました。そして、子育て問題では地場産品を活用した安全安心の給食の実施拡大や、妊婦健



和歌山県議会議員 奥村のり子

診の公費負担の拡充について取り上げました。

昨年の和歌山県の出生数は7千689人でした。国が望ましいと言っている妊婦健診の回数は14回です。5億4千万円あれば健診の無料化が実現します。

県は中小企業高度化資金26億円の債権放棄をする一方で、財政難を理由に県民の切実な要求には十分応えようとしていません。

後期高齢者医療制度廃止と共に、みなさんと一緒にこの熱い・暑い夏を乗り越えていきたいと思えます。

答弁

妊婦健診の公費負担の

回数および内容については、国の考え方に沿って早期実現に向けて取り組む。助産所での健診は、公費負担を増やす取り組みの中で検討する。出産育児一時金の「受取代理制度」の周知は現在取り組んでいるところ。

要望

里帰り出産の際、福井



日本共産党 和歌山市会議員 南畑さち代

まとなつており、中核市(38市)の中でも最低となつています。子育て支援の立場から、

制度を知らずに困っている人も



後期高齢者医療制度について

質問

4月から実施された後期高齢者医療制度は75歳から別枠の医療制度に押し込め、年金からの天引きや保険料が2年毎に引上げられる仕組みとなっていること、保険で受けられる医療の自身が制限されることなど、制度的欠陥を持っている。廃止すべきだと思いが、市として実施後の問題点についてどう考えるか。

答弁

市長は、「尊厳を傷つけたこと遺憾、精査不十分だった」と答え、「75歳以上の方々の切り離れたかのような形とな

ったことについては、長年わが国を支えてきたことに対する尊厳を著しく傷つけたことであり、誠に遺憾である」「大きな制度改正にもかかわらず、周知が徹底できていない中でスタートしたこと、国の実施した保険料の比較でも大都市の自治体では所得の低い方への負担が増えていることが判明し、更なる保険料軽減策が検討されるなど、当初から十分精査された制度ではなかった。今後きめ細かく問題点を再度検証し、高齢者の方々に十分配慮した制度を構築するよう、市長会などを通じ、国に強く要望していく」。

「保険財政の健全化を進め、国民皆保険制度の維持を求める」

後期高齢者医療制度の廃止をと賛成討論

議会最終日の7月1日、大舩 主馬(党市議団)、木佳明(民主クラブ)、森田昌伸(新和クラブ)、石谷保和、旅田卓宗(各無所属)の5人の議員発議で、「保険財政の健全化を進め、国民皆保険制度の維持を求める意見書」を提案しました。

文書は、世界に誇れる国民皆保険制度の維持を国に対して強く求めると共に、「後期高齢者医療制度は、高齢者の尊厳を否定」すること、後期高齢者医療制度の創設は「・・・お互いを

公明党議員団は、この提案に反対討論をしました。採決では14議員が賛成しましたが、過半数に届かず意見書は採択されませんでした。

意見書案

『市のごみ有料化案』

昨年11月より、和歌山市は廃棄物対策審議会にごみ有料化のあり方および実施方法、時期について諮問し、今年の5月に第3回目の会議がひらかれました。内容は次の通り

- 有料化で市民意識を変え、ごみ減量をめざす。年間諸費用は約8億5千万円。その内約5億円が市の収入となる。
- 一般ごみ、粗大ごみ有料化
- ・ごみ袋1枚52円/40リットル
- ・粗大ごみ 300円

のシール等 となつていきます。



消費税は、いかに上げ秀明です

ガソリンや食料品などの値上がりが止まらず、家計を直撃し

ています。値上げの原因は、原油や穀物の高騰です。それを儲けの対象にして「投機マネー」を規制しなければなりません。

3年の長い単位で考えるところ、増税の決断の時期だと発言しています。



県くらし・福祉対策委員長 くにしげ秀明氏

ところが政府は、規制には消極的です。それどころか、家計をさらに痛めつける消費税増税「消費税増税」とは、よく言えば口にし始めています。福田首相は2、

無料生活法律相談

日時：8月 6日(水)
8月20日(水)
午後6時～7時

会場：河西診療所
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時～12時
午後6時半～8時
(但し、8月14日は休みます。緊急の場合はお電話で)

会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418 または 453-7758
和歌山市善明寺411-4
お問い合わせは南畑幸代まで
453-7758 (自宅) または
435-1113 (日本共産党市議団直通)